

【取扱い厳重注意】

○質問者 津波が来るまでの50分間にどれだけわかったのかを知りたいなと思ったんですけども、ちょっと先走った質問になってしまうかもしれないけれども、50分後の時点で、津波が来る直前の時点で主要なものがほとんどどこも壊れていないというような感触だったんでしょうか、所長としては。

○回答者 私の感覚としては、スクラムしたということと、DGが働いた、それから、いろんなパラメータがとりあえず異常ないかと、これは何がということではないんですけども、各中操に、それ以外のものが異常ないかという確認はしています。ですから、当直長の感覚で見て、計器を見た範囲で、大きく異常がないという話は聞いているんです。その大きい異常という中に、今、おっしゃったようにMSラインが壊れていれば、当然のことながら、ほかの警報が出ますので、そこら辺も含めて確認はしているものと、この時間で、そんな状況ですから、いちいち細かく確認していませんが、私はそう思っております。

○質問者 その点で、通常というのがあるのかどうかかわからないですが、この時系列の中で、6ページのところに、15時03分ころにICによる原子炉圧力制御を行うために手動停止として、その後、ICによる原子炉圧力制御開始と記載があります。

○回答者 これは、この時点に戻って言いますと、ここに記載されている内容はすべて私が円卓で確認した内容ではありませんので、後で調べたことも入っていますから、私の判断の中で言いますと、このICについて言えば、個別にICがどこで手動停止したかということについて、その時点では情報は入ってきていないです。

○質問者 その点を含めてお聞きしたかったんですが、細々とした開閉操作ということ、実際は、この時系列の最初の1ページのところなどに書いてあるんですが、一般的にICを開いた後に、閉めたり、開いたり、閉めたり、開いたりということを小まめに操作するというのは、通常の手順として考えられているんですか。

○回答者 まず、試験ではなくて、非常時にアイソレーションコンデンサーを動かすこと自体が極めて特殊な事象なんです。運転員は当然ICの作動をどうするかと、どういう運転をするかということは熟知しておるわけですけども、実際に現場でICのコントロールをするのは今までほとんどない事象です。アイソレーションコンデンサーを操作するということは何かということ、炉内の蒸気を逃がしてやるわけですから、その分、炉内に保有する水量が減ってしまうわけです。水位制御をしていかなければいけない。原子炉の水位を制御していく。余りICを通し過ぎてしまうと、炉内の水位が下がってしまうんですから、その辺のコントロールを運転員はしていたんだと思うんですけども、そういう操作をしていたということについては、私はその時点では聞いていないです。

○質問者 ICを起動したのは初めてですか。F1にとって。

○回答者 1回あります。私はそのときいましてから覚えていないんですけども、平成3年ごろに、津波ではないですけども、福島第一の1号機が海水系の埋設配管が漏えいしたことがあります。それで電源が塞がっていて、かなり近いような事象があって、そのときにICを回したと聞いているんです。そのとき、私、本店に、原子炉保修にいたものですから、現場ではないんで、どういうあれをしたか、わかりませんが、記録から言うと、ICをそのときに動かした。

○質問者 スクラムは。

○回答者 スクラムは何回も。スクラム対応というのは、過去は、1号機であれば、最近はほとんどな